

CAMPUS 八戸学院

vol.60

八戸学院大学40年・
八戸学院大学短期大学部50年

新立体的学園構想
「4つの柱」の見直しについて

HACHINOHE GAKUIN
UNIVERSITY

八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 入学定員増加のお知らせ

八戸学院大学健康医療学部人間健康学科は、2021年8月27日付で文部科学大臣から収容定員の増加に係る学則変更について認可を受けました。
これにより、2022年度の入学定員を増加することが正式に決定しました。

健康医療学部人間健康学科
2022年度入学定員

100名

入学定員80名から20名増

目指せる資格

【教員免許】

高等学校教諭一種免許（保健体育）
高等学校教諭一種免許（保健）
高等学校教諭一種免許（看護）
中学校教諭一種免許（保健体育）
中学校教諭一種免許（保健）
養護教諭一種免許

【国家試験】

社会福祉士
介護福祉士（※1）
精神保健福祉士（※2）

（※1）社会福祉士の国家試験受験資格のある者は養成校に進学可能。
（※2）指定科目の一部が履修可能。卒業後、短期養成校へ進学可能。

【公的資格】

介護職員初任者研修
社会福祉主事任用資格（任用資格）

【民間資格】

JATI トレーニング指導者
健康管理士一般指導員
医療事務（メディカルクラーク）
食生活アドバイザー
日本スポーツ協会公認
コーチングアシスタント
認定心理士

CONTENTS

- 3 八戸学院大学健康医療学部人間健康学科
入学定員増加のお知らせ
- 4 八戸学院大学 40 年・八戸学院大学短期大学部 50 年
- 6 行政機関×高等教育機関 三戸町
- 8 研究室訪問
心を科学する～3つの「心理学」と「心理学基礎実験」～
- 10 全国への挑戦
- 12 八戸学院 TOPICS
- 14 ステラが行く
- 15 ステラ・フォーカス
- 16 光星学院イノベーションプログラム（基金）報告
- 18 新立体的学園構想「4つの柱」の見直しについて

大学 ヴァンラーレ八戸加入内定 ～最後まで諦めないプレーを～

サッカーJ3のヴァンラーレ八戸に大学サッカー部 江幡俊介さん（人間健康学科4年）の来季からの加入が内定しました。

同クラブと大学はオフィシャルパートナー契約を締結。学生の練習参加やトレーニングマッチを積極的に行っており、実力が認められた江幡くんは「最後まで諦めないプレーが持ち味。早く試合に出場して、チームに貢献したい」と抱負を語りました。



左から 葛野 監督（ヴァンラーレ八戸）、
江幡さん、岩本 監督

CAMPUS 八戸学院

vol.60



表紙

令和3年12月「八戸学院トレーニングセンター」が完成しました。センター内には多機能のトレーニング器具やボルダリングウォールが設置され、本学院の運動部の競技力向上や、教育・健康増進等に活用されます。

建学の精神

「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。（寄附行為 第3条）

- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

<https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>



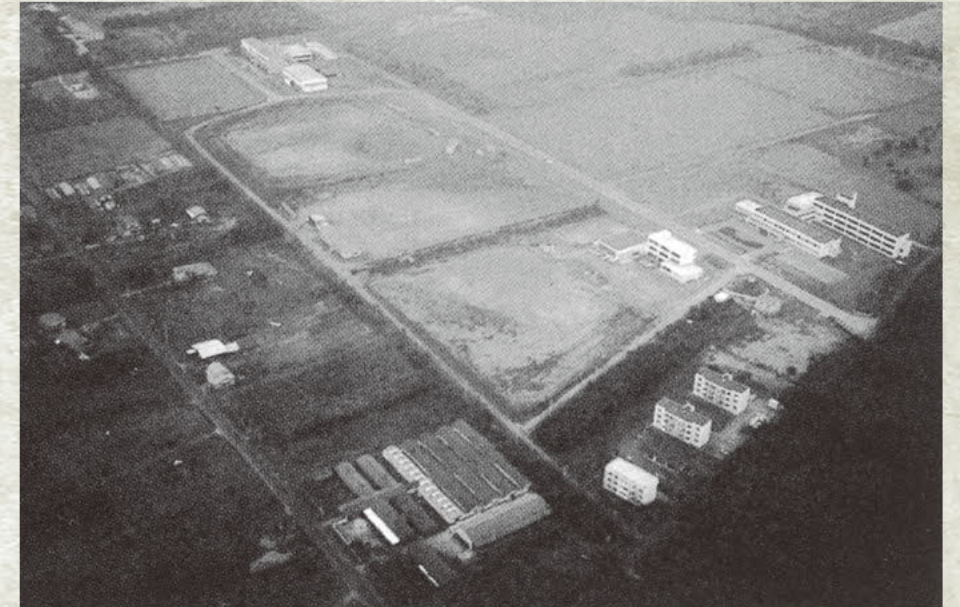
八戸学院大学40年・八戸学院大学短期大学部50年



2020年撮影



創立20周年当時（2000年撮影）



開学当時（1981年撮影）

2010年

卒業生数(令和3年3月まで)

大学	(名)
ビジネス学科(商学科) ……	4,785
人間健康学科 ……	804
看護学科 ……	62
	5,651
短期大学部	(名)
幼児保育学科 ……	5,015
経営情報学科(現代ビジネス学科) ……	1,704
ライフデザイン学科 ……	284
看護学科 ……	499
	7,502

- 八戸学院大学が八戸学院短期大学へ名称変更 (2013年4月)
- 八戸短期大学が八戸学院短期大学へ名称変更 (2013年4月)
- 八戸学院大学健康医療学部看護学科開設 (2016年4月)
- 八戸学院大学健康医療学部看護学科募集停止 (2016年4月)
- 八戸学院大学人間健康学部を健康医療学部へ名称変更 (2016年4月)
- 八戸学院大学地域経営学部地域経営学科開設 (2018年3月)
- 八戸学院大学短期大学部ライフデザイン学科を廃止 (2018年4月)
- 八戸学院大学短期大学部看護学科を廃止 (2019年3月)
- 八戸学院大学短期大学部介護福祉学科開設 (2019年4月)
- 八戸学院大学短期大学部ビジネス学科を廃止 (2021年3月)

2000年



(上)人間健康
学部公開講座
(下)第1回短
期大学看護学科
宣誓式

- 光星学院八戸短期大学創立30周年記念式典を挙 (2000年11月10日)
- 八戸学院大学創立20周年記念式典を挙 (2000年11月10日)
- 光星学院八戸短期大学経営情報学科を現代ビジネス学科に名称変更 (2004年4月)
- 八戸大学商学部商学科をビジネス学部ビジネス学科に名称変更 (2004年4月)
- 光星学院八戸短期大学が八戸短期大学へ名称変更 (2005年4月)
- 八戸大学人間健康学部人間健康学科を開設 (2005年4月)
- 八戸短期大学ライフデザイン学科開設 (2006年4月)
- 八戸短期大学現代ビジネス学科を廃止 (2007年3月)
- 八戸短期大学看護学科開設 (2009年4月)

1971年



(上)八戸短期大学開学式
(下)八戸大学第1回入学式

- 八戸短期大学(幼児教育学科)開学 (1971年4月)
- 八戸短期大学第一回入学式を挙 (1971年4月15日)
- 八戸短期大学が光星学院八戸短期大学へ名称変更 (1973年4月)
- 八戸大学(商学部商学科)開学 (1981年4月)
- 八戸大学第一回入学式を挙 (1981年4月17日)
- 光星学院八戸短期大学経営情報学科開設及び入学式を挙 (1987年4月11日)

八戸学院大学 学長 水野 眞佐夫

八戸学院大学は1981年に「商学部商学科の単科構成とする」八戸大学として開学以来、人間大学と呼ばれていた時期があり、専門性だけでなく人間力をいかに高めていくかという理念は現在も引き継がれてきている。2005年に人間健康学部を設置、2016年に健康医療学部へ変更すると共に短期大学より看護学科が4年制へ移行し加わった。大学にとってこの10年の歩みは、地域経済・経営から地域社会を構成している一人ひとりの教育・健康・福祉にかかわる「人財」の育成へとその成果の幅を広げてきた。

本学の使命は、地域の創生・活性化の力強い原動力となりうる次世代の担い手を育成することであり、卒業生がこの地域に定着したいと思える教育カリキュラム・事業を推進していくことが重要である。本学は課外活動におけるスポーツ・文化活動が盛んな大学である点も魅力の一つである。学生が多様な活動を通じて主体的に地域と結びつくことにより、子どもたちの夢の実現へ向けて応援していくことが可能となる。さらに、世界が直面し取り組むべき持続可能な開発目標(SDGs)への国際的な視野をもって本学の学生がトランスローショナル(垣根を越えて流動的に)に世界の国々の地域と地域を結ぶ新たな発展を実現する未来を夢見ている。

本学のこれまでの「教育」の充実と「地域社会」との連携活性の10年の歩みを振り返ると、地域で期待されている専門領域における研究者の育成、科学的根拠の提示に基づく地域社会への学術的・科学的貢献等に関しては、十分な力量発揮には至っていない。研究力の強化が、これからの10年を見据えた本学の取り組みべき重要課題の一つである。

八戸学院大学短期大学部 学長 杉山 幸子

幼児保育学科は1971年に幼児教育学科としてスタートしてから50年の歴史を刻み、多くの卒業生が地域社会で保育者として活躍するとともに、そのご家族がまた本学に入学してくださっています。介護福祉学科は2019年に開設され、これから大きく成長しようとしている新しい学科です。

このように歴史は違いますが、短期大学の学生のメンタリティーには「共感性」という共通する資質があり、どちらの学科にも地元で親しみ、家族や友人を大切に、まさに「人を愛する」心をもった学生が集っています。今後、両学科のコラボレーションや学生間の交流が深まることで、新たな学びが展開する見通しです。いえ、今年の学生会の活動の様子などを観ると、それはもう始まっていると言つてよいでしょう。

社会は常に変動しています。少子化にあっても保育者のニーズは依然として高く、これからは保育の質がますます問われる時代になります。一方で介護人材の不足は深刻であり、本学には国内外の人材を発掘し、高い専門性を備えたプロフェッショナルを育成するという大きな期待が寄せられています。

この2学科を両輪として、本学はこれからの10年を駆けていきます。

行政機関



高等教育機関

八戸学院大学と八戸学院大学短期大学部の両校には、これまでに、健康福祉や防災、農業経営などの分野でご協力い



包括連携協定の様子

ただいっており、三戸町民の健全な暮らしの確保に多大な貢献を賜っております。また、令和元年8月には、相互の連携強化を目的として、三者による包括連携協定を締結したところであり、地域振興の更なる発展を目指す体制を強固にしたところでです。

農業経営では、労働力の補完をテーマとして、熟練の技術を要する農作業を、一般の人にわかりやすく紹介するため、農作業体験とおした、農家との意見交換や成果発表などを行っていただき、農家ともども新たな気づきとなりました。また、当町からは、八戸学院大学看護学科の看護臨地実習について、三戸中央病院が協力させていただくなど、良好な関係が続けられてきたところです。

三戸町



町長 松尾 和彦

1963年 生まれ 三戸町出身
1986年 青森大学経営学部卒
1995年～1998年 参議院副議長秘書官
2003年～2016年 青森県議会議員
2003年～2017年 青森県商工連合会顧問
2003年～2017年 青森県商工会青年部連合会顧問
2013年～現在 NPO三戸町観光協会顧問
2016年～現在 三戸町長



補助労働力不足解消に向けた地域の方々への最終報告の様子

このような中、私は、平成30年6月13日に開校した八戸学院カーテル高等学校（フィリピン・タラック州サンマニユエル市）の開校式に出席させていただきました。現地の大勢の生徒は、教室で日本人から日本語を学んでいました。人手不足は今の日本に限ったことではなく、アジアでは中国を先頭に人材獲得競争が起こっています。日本においても日本語が話せる優秀な人材が求められている中であって、世界で一、二を争う親日国であり、国民の平均年齢が20代というフィリピンに対する期待と希望は大きいものがあります。さらに、この学校には八戸学院大学と連携するCNEIによるマンツーマンの語学学校があり、日本からの留学生はネイティブな英語を楽しくマンツーマンで指導を受け、他の国からの受講生も英語や日本語を学べる体制になっています。また、カーテル高校は現地の

小中学校とも併設され、言わば三戸町の小中一貫とも近い幼保小中高が連携した教育環境が整えられていました。国が違えども質の高い安全な教育を行うための方策の一つとして、私たちも学ぶところが大いにあると強く感じたところです。

このフィリピン訪問での経験を踏まえ、教育分野では共通言語である英語を学び、世界中の人々とコミュニケーションを図ることのできる「英語スペシャリスト」養成に向けた総合的な事業を構想しました。これまでの日本型の英語教育では、英語によるコミュニケーションが十分とは言えませんでした。本事業は、小学校段階から日常会話としての英語のアウトプットを経験すること、英語の4技能テストを活用して授業改善を行うこと、これらを踏まえて子どもたちが海外へ語学留学する、という英語のスペシャリストを養成する一連の事業として構築したものです。子どもたちが自身が英語力の必要性を感じ、主体的に「英語を」学び、将来的には「英語で」学ぶことにより、インバウンド、国際交流等グローバルに活躍できる人材の育成を目指します。

平成21年度にスタートした三戸町の小中一貫教育では、小学一年生から英語学習に取り組んでおり、前述の構想実現のため、従来の中学生海外研修派遣事業のほか、長期休業中に五、六年生を対象とした英語合宿を行う、「小学生イングリッシュキャンプ事業」や、将来的な短期語学留学支援のための事業も予定しておりましたが、昨年は、新型コロナウイルス感染症が収束せず、事業の実施方針を見直しすることになりました。一方で、コロナ禍により大きく前進した事業もありました。児童生徒の学習への環境整備のため、GIGAスクール構想が加速化し、校内LANや1人1台の端末の整備が完了しました。これらの環境を活用し、前



八戸学院カーテル高等学校開講式の様子

述のCNEIコーディネーターによるオンライン留学を実施しています。内容としては、現地語学学校のマンツーマン指導と、現地の観光や文化・国際交流をオンラインで行うというものです。指導者の多くはTESOLを学んでおり、子どもの英語力に合わせて会話してくれます。参加した子どもたちからは、世界の人々とコミュニケーションを図るためにも英語をもっと学びたい。身振り手振りを交えながらも、伝えたいことを伝えることができた。など、前向きな意見が聞かれました。

世界がコロナ禍を乗り越えたその先に地域を発展させてゆくのは、我々に課された役割であると感じております。

近い将来には、日本語を学んだフィリピンの生徒と三戸町の子どもたちの交流が盛んになり、海を挟んだアジアの地域と一緒に支える時代が来ることを期待しています。

三戸町としても、若者の人材育成に寄与するため、今後も八戸学院大学と八戸学院大学短期大学部との連携を通じ、教育と子どもたちの可能性を広げ高めることに繋げていきたいと考えております。

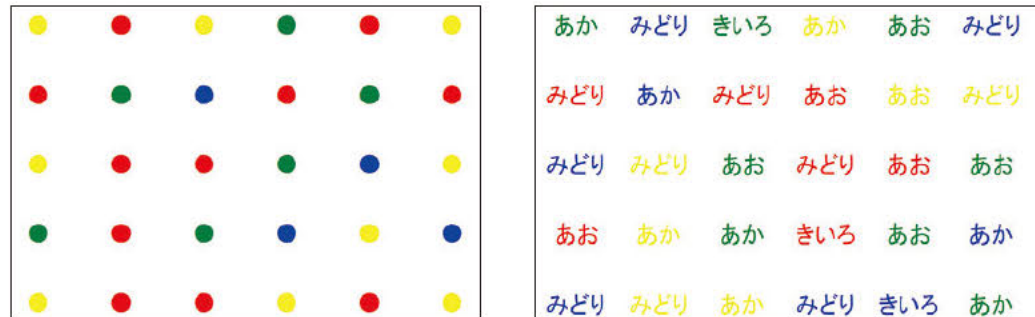


八戸学院カーテル高等学校の模擬授業視察の様子



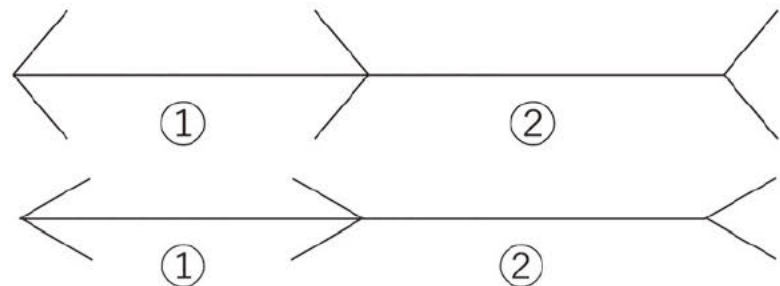
【実験1】ストループ効果

右のカードには「あか」「あお」「きいろ」「みどり」の4語がそれぞれ言葉とは別の色で印刷されています。この実験では、まず左のカードの●の色の名前を続けて素早く言ってもらい、続けて右のカードの文字が印刷されている色の名前を続けて素早く言ってもらいます（決して文字を読んではいけません）。左の●の色を素早く言うことはそれほど難しい作業ではありませんが、右の文字が表記（印刷）されている色を素早く言うことはかなり骨が折れます（文字の情報が頭の中で邪魔になります）。この現象を「ストループ効果」といいます。



【実験2】ミュラー・リヤーの錯視

下図の①と②の直線の長さはどちらが長く見えるでしょうか。おそらく②のほうが長く見えると思いますが、実は①と②はまったく同じ長さです（気になる方は物差しで長さを測ってみてください）。このように実際には同じ長さなのに、長さが違って見える現象のことを「ミュラー・リヤーの錯視」と呼びます（内向きの矢羽根「<>」に囲まれると直線が短く見え、外向きの矢羽根「><」に囲まれると逆に直線が長く見えます。この実験では矢羽根の開き具合（角度）によって、錯視の起きる程度がどのように変化するかを観察します。



【実験3】回転盤追跡学習

濃茶の箱の上にオレンジ色の円盤が載っており、円盤上には小さな銀色の的があります。箱のスイッチを入れるとオレンジ色の円盤が回転するようになっています。この実験では、円盤を回転させて、その状態で手に持った折れ曲がった棒の先を円盤上の銀色の的にできるだけ長く触れさせるという課題をさせていただきます。最初5分間続けて課題を行い、3分間の休憩を挟んで課題を再開すると、休憩前に比べて課題の成績が飛躍的に良くなる（棒の先で銀色の的により長い時間触れることが出来る）という現象が見られます。休憩なしで延々と練習をするよりも、途中で適度に休憩を挟むほうが練習の効率が上がることを証明した実験になります。



【実験4】鏡映描写課題

☆型の図形が書いてある紙を装置に設定し、黒い覆いで塞ぎます。その状態で、鏡に映っている映像（☆型の図形）だけを見ながら、鉛筆で☆型の図形をなぞって1周してもらいます。鉛筆を持っている手先も黒い覆いに隠れて見えなくて、鏡に映った手先を見ながら作業をします。鏡には実際とは上下が逆に映るため、多くの人が作業途中で手をどちらの方向に動かしていいかわからなくなります。実験ではこの作業を最初に非利き手で1回行い、続いて利き手で8回実施し、最後に非利き手で再び1回行います。非利き手で実施した最初の1回と最後の1回の1周に要したタイムを比較すると、多くの人が最後の1回のほうがタイムが短くなっています。このように利き手で練習をすると非利き手でも上達が見られる現象を「両側性転移」と呼びます。



心を科学する ～3つの「心理学」と「心理学基礎実験」～

①心理学とは 3つの「心理学」
大学1年生の「心理学」の授業で、初めて心理学を勉強する学生に対して「『心理学』と聞くとなんかイメージがつかない」という質問を行うようにしています。ここで多く返ってくる答えは、「心理テスト」と「カウンセリング」です。確かに「心理テスト（心理検査）」は病院での診断や就職試験での適性検査等で欠かせないものです。また「カウンセリング（心理療法）」も学校や病院等で、悩みを解消したり心の不調を改善するために欠かせないものです。「心理学」と聞いてイメージするものの答えとしては、どちらの答えも正解になります。

ことが出来ます。
【心理学1】心の個人差を調べる心理学
この心理学では主に「心理検査」を用いて人の性格や心理状態を調べます。人の知能も「知能検査」を用いて測ることが出来ます。
【心理学2】ある個人の心の状態を良くするために援助を行う心理学
この心理学では、ある個人の悩みや心の不調に焦点を当て、さまざまな「カウンセリング」や「心理療法」を用いて心の状態が改善するように援助を行います。

【心理学3】人間共通の心の働きの法則を調べる心理学
この2つの「心理学」は皆様が心理学に対して持っているイメージに適合するものです。ただし、これ以外にもう1つ「心理学」が存在します。
【心理学3】人間共通の心の働きの法則を調べる心理学
「心理学1」「心理学2」とは異なり、この心理学では「個人」は一切登場しません。人間という動物が共通に持っている

合わせている心の働きの法則を調べる心理学となります。
「心理学3」の研究対象（学習内容）としては、「視覚や聴覚などの感覚（知覚）のしくみ」、「感情や気分、欲求（動機付け）のしくみ」、「記憶のしくみ」、「注意、集中力、思考等の認知機能」、「新しい行動の習得や行動変容のしくみ（行動学習）」、「人間関係におけるさまざまな心理（人の印象、援助、攻撃、恋愛）」、「人の心の成長、発達」などが挙げられます。これらの心の働きの特徴を実験を用いて科学的に解明するのが「心理学3」です。



八戸学院大学
健康医療学部 准教授
金 地 美知彦

東北大学大学院文学研究科心理学専攻分野
東北大学文学部社会科学科心理学専攻

2006年4月から八戸大学人間健康学部勤務
2021年4月から現職

専門分野 心理学
担当科目 心の科学、健康教育論
健康医療総論、心理統計学A・B
青年心理学、心理学、基礎実験
心理学実習

大学 第30回全日本大学女子サッカー選手権大会 出場

東北予選では厳しい試合もありましたが、ひとりひとりの迫力あるプレーが点数へと繋がり、初の東北第1代表で全国大会に出場することができました。初戦まで1ヶ月間、全員で課題解決したり、スタッフと選手でミーティングを密に行ったりしながら、より良いパフォーマンスで試合ができるように練習に取り組みたいと思います。全国大会では、1勝以上できるようにチーム一丸となって闘い続けたいと思います。

八戸市の代表として、八戸学院大学の代表として、熱量倍増で精一杯闘いますので、応援宜しくお願い致します。

人間健康学科4年 根本 ひかる



Soccer 女子サッカー部

大学 アットホームカップ2021 第19回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル 出場



昨年あと一歩というところで全国を逃したので、今回インディペンデンスリーグの全国大会に初出場することができ嬉しく思います。

今まで積み重ねてきたことを最大限に発揮し、全国大会という素晴らしい舞台を最高に楽しめたいと思います。

地域経営学科3年 国奥 棕介

Soccer 男子サッカー部

大学 第58回 全国大学ラグビー選手権大会 出場

私たちラグビー部はコロナ禍で練習が中止になってしまった期間がありましたが、1日1日の練習をワンチームで協力しながら行い、東北・北海道で優勝し、東北・北海道代表として全国大会出場を決めました。

練習する時間が短かったため、リーグ戦の試合の都度、全員で課題を出し合い改善したことで短い期間の中で成長していくことができました。

大学選手権では、目標である「全国1勝」を達成することはできませんでしたが、シーズンを通して沢山の方に応援していただき、自分達の力になり、励みになりました。

地域経営学科4年 川崎 拓郎



Rugby ラグビー部

大学 第94回日本学生氷上競技選手権大会 出場

最少人数ながらみんなで体を張り、勝ち取ったインカレ出場の切符。本当に嬉しかったです。コロナ禍の中、大会ができること、アイスホッケーができること、携わっているすべての方々に感謝をして大会に臨みたいと思います。

そして、全国という大きな舞台に連れて行ってくれた監督の前で持てる力をすべて発揮し結果を残して八戸に帰ってきます。応援の程よろしくお願いたします。

人間健康学科4年 佐賀 史春



Ice Hockey アイスホッケー部

光星高 SoftBankウィンターカップ2021 令和3年度第74回高等学校バスケットボール選手権大会 出場

僕たちは、このウィンターカップ出場に向けて日々練習に励んできました。昨年のウィンターカップ予選では決勝戦で惜しくも敗れ、全国の切符を逃してしまいました。昨年の先輩方の想いも込めて今年のウィンターカップ予選に挑みました。接戦でしたが、今まで共に戦ってきた仲間や監督、保護者、先輩方などみんなの思いを胸に最後まで諦めずに戦い、残り2分で逆転して優勝することができました。自分達の代で優勝した感動は忘れられない思い出になりました。男子バスケットボール部はまだ全国の舞台で1勝することができていません。今年は絶対に全国の舞台で1勝し、次の後輩達に良い文化を残せるように頑張りたいと思います。

普通科3年 今 南央斗



Basketball 男子バスケットボール部



光星高 八戸学院光星高等学校文化発表会 [11/12]

八戸市公会堂で開催された文化発表会は3部制で、1部はピアノ研究会、チアリーディング部、吹奏楽部の演奏と演技があり、日頃の部活動での練習の成果を存分に披露してくれました。第2部と第3部は予選会を勝ち抜いた各グループや個人の発表で、個性豊かで熱演・熱唱する姿が印象的でした。発表会は、昨年度できなかった光星祭ステージ発表の盛り上がりを求めるかのように大盛況でした。コロナ禍で振り回された学校生活でしたが、発表会の充実ぶりは、高校時代の思い出の一つになったものと確信できたと同時に、今後の高校生活にとって意義のあるものだと思います。

ステージに飾るモザイクアートも全校生徒の手で製作でき、良い思い出になりました。

文化発表会実行委員長 3年L組 鈴木 英莉

引退セレモニーとして最後の演技をすることができました。感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

3年L組 本波 歩夏

大勢の人が盛り上がってくれて、最高に素敵な思い出をみんなで作りあげることができました。

3年F組 横山 永遠



野西高 伊能忠敬が野辺地に宿泊!? ～「蔵」を訪問～



本校の2年次生16名が、野辺地町にある野坂家の資料館「蔵」を見学しました。野坂家は、江戸時代から野辺地の発展と共に歩んできた由緒ある名家で、野坂家の先祖代々の歴史的な品々、野辺地町の歴史と文化に関する様々な資料が展示されていました。

日本初の日本地図作成（測量）で知られている伊能忠敬や長久保赤水に関する資料が複数展示されていました。伊能忠敬が野辺地町を訪れ、野坂家に宿泊していること（2021年6月8日東奥日報記事）などを、館長の野坂幸子先生から丁寧に説明いただきました。

このほかにも、関連するたくさんの地図や歴史的な品々を見学し、生徒達も興味津々で、熱心に聞き入っていました。下北・津軽・南部への玄関口として栄えた野辺地町の歴史は深く、生徒達には、興味深く有意義な社会見学だったようです。参加した生徒からは「次年度の「総合的な探究の時間」で、野辺地の歴史について調べたい」との感想がありました。

大学 八戸学院大学&西安外国語大学 Be Global 日中オンライン交流会開催 [11/18]

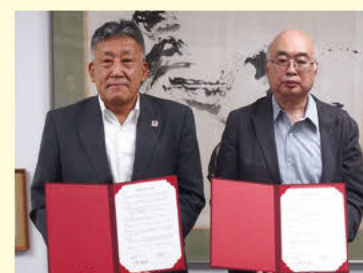
柴垣教授を始めとする国際交流・留学生支援委員、地域経営学部の堤教授、その他関係部門との連携により、中国の西安外国語大学日本経済文化学院とオンライン交流会が実施されました。学生の国際交流意欲の向上と、国際的な学習機会を拡充・多様化することを目的とした海外の大学とのオンライン交流は本学初の試みで、本学15名、西安外国語大学40名の学生が参加しました。

前半はグループ発表で、両大学の学生はそれぞれ医療事情や食事等をテーマに紹介を行い、後半のフリートークでは、質問や意見が飛び交い盛り上がりを見せ、成功裏にオンライン交流会を終えることができました。



大学 技術向上と健康を願って ～八戸弓道協会と奉納射会～

八戸弓道協会と本学大弓道部は、櫛引八幡宮で奉納射会を行いました。射会に先立ち、川口文人会長と法宮新一理事長が玉串を奉納。射会では川口会長の矢渡しに続き、同協会の9名と同大弓道部員6名が弓道技術の向上と新型コロナウイルスの収束を願い行射しました。



川口文人 八戸弓道協会会長(右)と水野学長

地域連携協定を締結

八戸学院大学と八戸弓道協会は、地域における弓道の発展と弓道を通じた教育の充実および地域活性化を目指して連携協定を締結しました。



野西高 「令和3年度御下賜金記念 産業教育功労者」受賞



産業教育に功労があった教職員を表彰する「御下賜金記念産業教育功労者」を本校の成田富美仁教諭が受賞しました。

成田先生は「仕事に就いて40年あまり“継続は力なり。自動車整備士を育てる“その思いで働いてきました。これからもコツコツ取り組んで、野辺地西高から素晴らしい人材を育てたいと思います」と受賞の喜びを述べました。

今後ますますのご活躍を期待します。

追悼 八戸短期大学(現八戸学院大学短期大学部)名誉学長 石丸 浩文氏(享年90歳) 略歴 昭和31年 光星高等学校に奉職 昭和46年 八戸短期大学事務局長 昭和56年 八戸短期大学教授 昭和62年 八戸短期大学学長 平成7年 八戸短期大学名誉学長 平成14年 八戸短期大学名誉学長 平成14年3月までご尽力いただきましたが、令和3年9月16日に逝去されました。これまでのご功績に感謝申し上げますとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

八戸学院聖アンナ幼稚園

秋の季節祭

恒例の秋の季節祭。今年は園児と職員のみで行いました。園内に様々なブースを作りスタンプラリーをしながら順番に巡ります。数日前から楽しみにしていた子どもたち。いよいよスタート！最初は感覚の部屋（スヌーズレン）。薄暗い照明の中での触覚体験。水風船の枕やボールプール、スライム粘土等を楽しみ最後は寝転がっての深呼吸。心も体もリラックスできて「ふーきもちいいー」と思わず声がもれていました。次はスーパーボールすくい。ヒコキ飛ばしや、変身コーナーを回りそ

れぞれの場所でお菓子のお土産をもらいます。最後はくじ引き。当たった景品をかかえてみんな笑顔でゴール！お昼は特別メニュー、ホクホクの栗ご飯と園でとれたブドウを使ったゼリー。沢山食べて大満足の日でした。



ステラ・フォーカス



秋の気配が感じられ始めた9月半ば、本園の園庭ではとっても嬉しそうに芝生の上を裸足で駆け回る子どもたちの姿がありました。初めて裸足で地面に足をつける子の中にはなかなか足をつけたがらない子もいましたが、恐る恐るついた足先が柔らかな葉っぱに触れると「あれ？」と不思議そうな様子で何度も踏み締め、その感覚を足の裏で確かめていました。2日目、3日目と裸足での外遊びを経験するうちに、すっかり地面の感触にも慣れ、いつの間にかみんな裸足でいることが大好きになりました。



温度の違いを味わうことができます。コンクリートと葉っぱの上の違いや、日の当たる場所と日陰、水を含んだものと乾燥しているものなどあらゆる感触の違いに気付く、キラキラと目を輝かせて発見したことを教えるに役立ちます。それはまさに子どもたちの内面からあふれ出る輝きで、心と体を目いっぱい働かせている証です。子どもたちは自分で見つけたことが嬉しくて何度も行ったり来たりしながら

ら、いろんなことを試しています。あまりにも楽しそうなので園児と一緒に教師も裸足になってみると、何とも言えない心地良さ。当たり前ですが、普段はゴム底付きのズックと靴下で覆われている足がむき出しになってダイレクトに伝わってくる葉や土の感触。子どもたちが裸足になりましたが、気持ちがとてもよく分かりました。

外遊びの後には一人ずつ洗面器に水を溜め、自分で足を洗います。大人から見ると一見とても面倒な足洗いも、子どもにとっては楽しいお仕事。小さい子は始めのうち教師に手伝ってもらいながら、少しずつ自分でできることをやってみます。片足を持ちながら洗うのは慣れるまで少し大変な作業ですが、だからこそやってみたい！という子どもの思いも伺えます。洗い終わったら汚れた水を捨て、自分が使ったタオルを片付けるなど、次の人が気持ちよく使えるようにすることも忘れません。

寒くなってきたので残念ながら今年はおう終了しましたが、春にまたみんなで裸足での園庭遊びができることを心待ちにしています。



八戸学院3幼稚園
マスコットキャラ
ステラが行く
vol.11

八戸学院聖アンナ幼稚園 裸足で感じる園庭あそび 「研ぎ澄まされる感覚」

八戸学院第二しののめ幼稚園

園舎の前の畑で収穫体験

本園では春にさつまいもの苗、夏に大根の種を植えました。畑が園舎の前にあるので、登降園時に野菜の成長を観察することができます。収穫時、子どもたちは土まみれになりながら穴を掘り、さつまいもを見つけ出します。自分の顔より大きいさつまいもにみんな驚きました。大根の形もきれいで立派なものがたくさん収穫できました。

本園ならではの保護者企画「野菜探しゲーム」は大人気です。お父さん、お母さんが土の中に野菜を隠してくれます。今年はりんごや梨、かぼちゃやスイカ、ごぼう、

人参など様々な種類の野菜でした。見たことのないサイズの野菜に子どもたちは大興奮。お天気にも恵まれて楽しい収穫体験となりました。



八戸学院幼稚園

憧れのバスに乗って

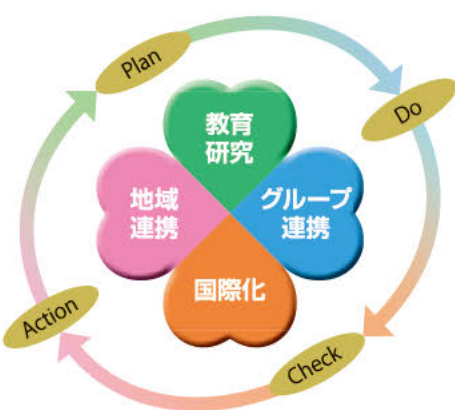
バス送迎のない1・2歳児にとって、朝や帰りに幼稚園のロータリーに現れるスクールバスは憧れの的。『かっこいいね！』と毎日眺めていました。

10月に2歳児クラスは初めての園外保育がありました。大興奮の中、ポップバスの汽笛音で出発進行！ますます盛り上がります。道行くトラックや市営バス、パトカーにも手を振り「お仕事頑張ってくださいー」と声をかける子どもたち。ドライバーの

皆さんも笑顔で手を振り返してくださいました。

八戸学院美保野キャンパスに到着後、職員の皆さんにご挨拶をして、周辺を探索しました。落ち葉の山に飛び込んだり、ドングリを見つけたりと、秋ならではの園外活動を満喫した1日でした。





することも検討されています。「教育」は教員側の働きかけが意識され、「学び」は学生や生徒等の活動が意識されることであるという意見もありました。幼稚園、高校、大学とも新しい時代の教育の在り方が示されている中、唯一無二の個性の伸長も意識しながら、どのように教育を充実・発展させていくのかが問われる部分だと思っています。

関連して、今後重要視したい建学の精神については、他の柱との兼ね合いが議論されています。私学は建学の精神に沿った教育活動等が基本であり、それゆえ建学の精神がすべての柱立ての土台部分となる認識から、新しく柱として盛り込むことに異論は出ません。

新立体的学園構想「4つの柱」の見直しについて

法人運営協議会委員 一戸 利則
(八戸学院大学 学長補佐)

今年度新たに設置された法人運営協議会（以下、協議会）では、法人60周年を機に定められた新立体的学園構想の「4つの柱」について、策定からおよそ5年が経過した現在、見直しに向けて検討を進めているところです。

これまでの流れとしては、第3回協議会で法官新一理事長が見直しに言及され、第4回協議会では法人運営についてこれまで意見交換してきた内容を整理した後、4つの柱の見直しについて着手する旨を改めて話されました。第5回協議会では現在の4つの柱の策定意図等の説明があり、11月の第6回協議会から具体的な検討が始まっています。この度の見直しによって、今後10年間を視野に八戸学院が目指すべき方向と取り組むべき内容等の共通理解が深まり、変化の激しい時代を力強く発展していく八戸学院として、法人教職員の一体感を生み出すことができるものと理解しています。

今回は、協議会メンバーを代表して現在の4つの柱について考えたことや見直しのポイント等について、理事長の考えや協議会での検討内容を踏まえつつ説明します。

まずは、現在の4つの柱についてです。「八戸学院の将来像——新立体的学園構想とは——」のリーフレットで

でした。「道德教育」「人間性」「人格の完成」「全人教育」等をイメージしながら包括的に表現しつつ、単独で柱立てするかどうかも含めて検討項目となっています。

「2 学院の特色強化とグループ連携」

とても重要な柱だという声が多数でした。八戸学院が子供や保護者等に魅力を感じてもらい「選ばれる学校」として評判・評価を高めるには明確な特色の発信が求められます。今のままですでに十分という安心感を持たず、絶えず子供や保護者等のニーズを捉えながら特色を強化していかなければ、少子化の中、入学（園）者の増加が厳しくなると思います。現在、高校・大学では充実した課外活動が大きな特色の一つとなっていることを踏まえて、さらにそれを強化するとともに、今後は多様な魅力を創出していくことも大切かと思われます。また、高大連携・幼小連携など学院内での連携を強化することは、学院全体の活性化につながるという見方から、この柱を維持する方向で検討が進んでいます。

「3 地域連携による経営基盤強化と共生」

大学の使命の一つとして社会貢献が



確認してみます。リーフレットには将来構想が端的にまとめられており、八戸学院の「教育の力」を前面に打ち出した「地域貢献」にも力点を置いているキャッチフレーズとなっています。また、「新しい時代の教育活動を地域とともに」というフレーズもインパクトがあります。伝えたいキーワードが簡潔に示されており、これらと関連させて4つの柱があるように捉えられます。リーフレットの「建学の精神」の説明文からも、建学の精神やその理念にしっかりと目を向けながら新立体的学園構想が構築されていると解釈できます。

協議会の中で理事長が、「建学の精神を法人内でさらに浸透させたい」「建学の精神に立脚した教育活動が八戸学院全体でなされなければならない

あり、高校においても学校教育を学校内に限定せず、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることなどが求められています。このことから地域とともに発展し続けてきた八戸学院が地域連携を推進し、それを経営基盤強化の根本とすることは重要であり異論をはさむところはありません。

ここで議論となったのは、「経営基盤の強化」についてでした。教育の視点から柱を組み立てている中で、八戸学院として教育活動がしっかりとなされているならば、自ずと経営基盤が強化されるのではないかと考えが主流を占めました。大学や高校などがさらに地域と関わりをもつて活動することが期待される中、この柱を継続することで八戸学院の各教育機関が地域連携、社会貢献、教育連携等に積極的に取り組み、地域から愛される八戸学院としての経営基盤が強固なものになると思われる。

「4 新時代の国際教育の研究と実践」

最初に「新時代」の捉え方を確認しつつ、留学生の受け入れなどによって教育の場が国際色豊かになることは好ましいということで共通理解がなされました。「国際教育の研究と実践」と

い」と強くおっしゃったことが印象に残っています。つまり、この度4つの柱を見直すに当たって、この建学の精神の位置づけを検討することが大きなポイントになってくると思われます。

次に、4つの柱について検討されている内容等を示すことにします。まだ具体的な柱の文言が決まっているわけではないことから、文言作成に向けた検討段階にあるということをご理解ください。

「1 教育の質（力）の向上」

4つの柱のトップに置かれていることから、何よりも教育を重視していることが伝わります。「教育」ということばについては、教育活動全体を広く意味することから、やや概念が絞られたことばとして「学び」を用いて表現

あるように、国際的な視点を育成する教育等については、研究・実践から進へとステージを移行する時を迎えていると思われます。八戸学院としては、人・物・金・情報等の国を超越した急速な動きやSociety 5.0時代の到来を踏まえて、継続的に国際的な感覚を身に着けた人材を育成していくことが重要であることから、このまま国際教育を柱として残すことで検討されています。

最後になりますが、具体的に新しく柱を策定する上での考え方として、次の3点を考慮しながら進めています。

（1）継続性の観点から現在の柱の理念を尊重すること

（2）視覚的なわかりやすさから4～5本の柱立てとすること

（3）「八戸学院」全体の教育活動を意識したものとする

今度も協議会で検討を重ね、今年度内に新しい柱を策定することとなっています。



HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT

美保野キャンパス 干支の飾り（雪囲い）



来年の干支「寅」の飾り

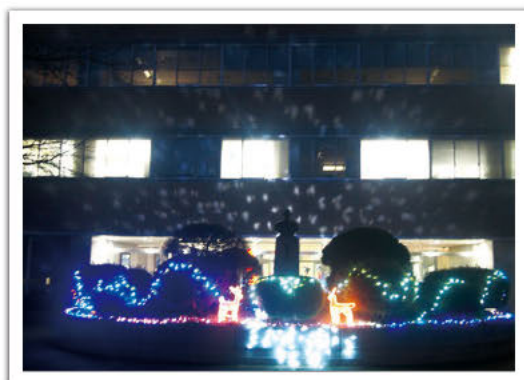
美保野キャンパスでは、11月下旬から樹木の冬支度「雪囲い」を行います。

毎年、業務班の職員が低地の庭木を中心に一つ一つ丁寧に作業を行い、美保野キャンパスの冬の風物詩としても親しまれています。

そんな雪囲いのでつぺんに、今年から干支の飾りが取付けられました。

今後も、干支の飾りを毎年取付けしていく予定で、新たなスポットが仲間入りしました。

八戸学院大学



8号館前のイルミネーション